

全体貸借対照表

(令和 6年 3月31日現在)

(単位：千円)

科目	金額	科目	金額
【資産の部】		【負債の部】	
固定資産	151,897,715	固定負債	44,539,811
有形固定資産	142,949,560	地方債等	33,002,787
事業用資産	66,537,856	長期未払金	-
土地	14,239,607	退職手当引当金	1,472,600
立木竹	2,924,995	損失補償等引当金	-
建物	50,067,036	その他	10,064,425
建物減価償却累計額	△ 30,573,375	流動負債	3,641,019
工作物	47,085,364	1年内償還予定地方債等	3,190,695
工作物減価償却累計額	△ 17,362,971	未払金	211,460
船舶	-	未払費用	-
船舶減価償却累計額	-	前受金	-
浮標等	-	前受収益	-
浮標等減価償却累計額	-	賞与等引当金	220,606
航空機	-	預り金	17,375
航空機減価償却累計額	-	その他	883
その他	-	負債合計	48,180,831
その他減価償却累計額	-	【純資産の部】	
建設仮勘定	157,200	固定資産等形成分	154,246,383
インフラ資産	74,703,417	余剰分（不足分）	△ 46,563,941
土地	7,264,192		
建物	1,649,841		
建物減価償却累計額	△ 813,337		
工作物	269,221,045		
工作物減価償却累計額	△ 203,837,217		
その他	-		
その他減価償却累計額	-		
建設仮勘定	1,218,894		
物品	4,811,796		
物品減価償却累計額	△ 3,103,509		
無形固定資産	1,170,351		
ソフトウェア	-		
その他	1,170,351		
投資その他の資産	7,777,804		
投資及び出資金	1,197,153		
有価証券	960		
出資金	1,196,193		
その他	-		
投資損失引当金	-		
長期延滞債権	119,760		
長期貸付金	145,012		
基金	6,319,946		
減債基金	-		
その他	6,319,946		
その他	-		
徴収不能引当金	△ 4,067		
流動資産	3,965,558		
現金預金	1,534,347		
未収金	83,023		
短期貸付金	31,332		
基金	2,317,336		
財政調整基金	784,397		
減債基金	1,532,939		
棚卸資産	-		
その他	-		
徴収不能引当金	△ 480		
繰延資産	-	純資産合計	107,682,441
資産合計	155,863,272	負債及び純資産合計	155,863,272

全体行政コスト計算書

自 令和 5年 4月 1日

至 令和 6年 3月31日

(単位：千円)

科目	金額
経常費用	33,718,560
業務費用	16,121,529
人件費	3,063,158
職員給与費	2,332,794
賞与等引当金繰入額	220,150
退職手当引当金繰入額	54,987
その他	455,226
物件費等	12,554,826
物件費	5,535,822
維持補修費	297,585
減価償却費	6,717,845
その他	3,574
その他の業務費用	503,546
支払利息	269,527
徴収不能引当金繰入額	2,373
その他	231,646
移転費用	17,597,031
補助金等	14,104,078
社会保障給付	3,468,940
他会計への繰出金	-
その他	24,013
経常収益	2,309,273
使用料及び手数料	1,964,851
その他	344,422
純経常行政コスト	31,409,287
臨時損失	16,736
災害復旧事業費	-
資産除売却損	16,736
投資損失引当金繰入額	-
損失補償等引当金繰入額	-
その他	-
臨時利益	18,462
資産売却益	18,462
その他	-
純行政コスト	31,407,561

全体純資産変動計算書

自 令和 5年 4月 1日

至 令和 6年 3月31日

(単位：千円)

科目	合計	固定資産等形成分	
		固定資産	余剰分 (不足分)
前年度末純資産残高	110,078,600	156,931,893	△ 46,853,293
純行政コスト (△)	△ 31,407,561		△ 31,407,561
財源	28,643,642		28,643,642
税収等	17,281,557		17,281,557
国県等補助金	11,362,086		11,362,086
本年度差額	△ 2,763,918		△ 2,763,918
固定資産等の変動 (内部変動)		△ 3,053,270	3,053,270
有形固定資産等の増加		3,883,776	△ 3,883,776
有形固定資産等の減少		△ 7,162,368	7,162,368
貸付金・基金等の増加		1,588,003	△ 1,588,003
貸付金・基金等の減少		△ 1,362,681	1,362,681
資産評価差額	-	-	
無償所管換等	367,760	367,760	
その他	-	-	-
本年度純資産変動額	△ 2,396,159	△ 2,685,511	289,352
本年度末純資産残高	107,682,441	154,246,383	△ 46,563,941

全体資金収支計算書

自 令和 5年 4月 1日

至 令和 6年 3月31日

(単位：千円)

科目	金額
【業務活動収支】	
業務支出	26,850,553
業務費用支出	9,224,028
人件費支出	2,969,373
物件費等支出	5,786,628
支払利息支出	269,527
その他の支出	198,499
移転費用支出	17,626,525
補助金等支出	14,106,632
社会保障給付支出	3,468,940
他会計への繰出支出	-
その他の支出	50,953
業務収入	30,332,381
税収等収入	17,248,555
国県等補助金収入	10,732,584
使用料及び手数料収入	1,964,038
その他の収入	387,203
臨時支出	-
災害復旧事業費支出	-
その他の支出	-
臨時収入	150
業務活動収支	3,481,978
【投資活動収支】	
投資活動支出	4,904,998
公共施設等整備費支出	3,605,467
基金積立金支出	1,051,565
投資及び出資金支出	-
貸付金支出	247,966
その他の支出	-
投資活動収入	1,728,853
国県等補助金収入	629,845
基金取崩収入	763,453
貸付金元金回収収入	279,298
資産売却収入	21,276
その他の収入	34,981
投資活動収支	△ 3,176,145
【財務活動収支】	
財務活動支出	3,207,808
地方債等償還支出	3,207,808
その他の支出	-
財務活動収入	2,706,175
地方債等発行収入	2,706,175
その他の収入	-
財務活動収支	△ 501,633
本年度資金収支額	△ 195,800
前年度末資金残高	1,712,905
本年度末資金残高	1,517,105
前年度末歳計外現金残高	43,584
本年度歳計外現金増減額	△ 26,342
本年度末歳計外現金残高	17,242
本年度末現金預金残高	1,534,347

注記

1 重要な会計方針

(1) 有形固定資産等の評価基準及び評価方法

- ① 有形固定資産……………取得原価
ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。
ア 昭和59年度以前に取得したもの……………再調達原価
ただし、道路、河川及び水路の敷地においては備忘価額1円としています。
イ 昭和60年度以後に取得したもの
取得原価が判明しているもの……………取得原価
取得原価が不明なもの……………再調達原価
ただし、取得原価が不明な道路、河川及び水路の敷地は備忘価額1円としています。
- ② 無形固定資産……………原則として取得原価
ただし、取得原価が不明なものは、再調達原価としています。
なお、地方公営企業においては、原則、取得原価としています。

(2) 有価証券等の評価基準及び評価方法

- ① 満期保有目的以外の有価証券
市場価格のないもの……………取得原価
- ② 出資金
市場価格のないもの……………出資金額

(3) 有形固定資産等の減価償却の方法

- ① 有形固定資産（リース資産を除きます。）……………定額法
なお、主な耐用年数は以下のとおりです。
建物 10年～50年
工作物 7年～80年
物品 3年～35年
- ② 無形固定資産（リース資産を除きます。）……………定額法
（ソフトウェアについては、庁内における見込利用期間（5年）に基づく定額法によっています。）
- ③ 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産（リース期間が1年以内のリース取引及びリース契約1件あたりのリース料総額が300万円以下のファイナンス・リース取引を除きます。）
……………自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法

(4) 引当金の計上基準及び算定方法

- ① 徴収不能引当金
未収金については、過去5年間の平均不納欠損率により、徴収不能見込額を計上しています。
長期延滞債権については、過去5年間の平均不納欠損率により、徴収不能見込額を計上しています。
- ② 退職手当引当金
退職手当債務から組合への加入時以降の負担金の累計額から既に職員に対し退職手当として支給された額を計上しています。
- ③ 賞与等引当金
翌年度6月支給予定の期末手当及び勤勉手当並びにそれらに係る法定福利費相当額の見込額について、それぞれ本会計年度の期間に対応する部分を計上しています。

(5) リース取引の処理方法

- ① 所有権移転ファイナンス・リース取引
リース期間を対応年数とし、残存価格を零とする定額法を採用しています。
- ② 所有権移転外ファイナンス・リース取引
通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

(6) 全体資金収支計算書における資金の範囲

現金（手許現金及び要求払預金）及び現金同等物
なお、現金及び現金同等物には、出納整理期間における取引により発生する資金の受払いを含んでいます。

(7) 採用した消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。
ただし、一部の連結対象団体（会計）については、税抜方式によっています。

2 重要な会計方針の変更等

- (1) 会計処理の原則または手続の変更
該当する事項はありません。
- (2) 表示方法の変更
該当する事項はありません。
- (3) 全体資金収支計算書における資金の範囲の変更
該当する事項はありません。

3 重要な後発事象

- (1) 主要な業務の改廃
該当する事項はありません。
- (2) 組織・機構の大幅な変更
該当する事項はありません。
- (3) 地方財政制度の大幅な改正
該当する事項はありません。
- (4) 重大な災害等の発生
該当する事項はありません。
- (5) その他重要な後発事象
該当する事項はありません。

4 偶発債務

- (1) 保証債務及び損失補償債務負担の状況
該当する事項はありません。
- (2) 係争中の訴訟等
該当する事項はありません。
- (3) その他主要な偶発債務
該当する事項はありません。

5 追加情報（財務書類の内容を理解するために必要と認められる事項）

(1) 連結対象団体について

会計名	区分	連結の方法	比例連結割合
国民健康保険事業勘定特別会計	地方公営事業会計	全部連結	—
後期高齢者医療特別会計	地方公営事業会計	全部連結	—
介護保険特別会計	地方公営事業会計	全部連結	—
個別排水処理事業特別会計	地方公営企業会計	全部連結	—
水道事業会計	地方公営企業会計	全部連結	—
簡易水道事業会計	地方公営企業会計	全部連結	—
下水道事業会計	地方公営企業会計	全部連結	—

地方公営事業会計及び地方公営企業会計は、すべて全部連結の対象としています。

(2) 出納整理期間について

地方自治法第235条の5に基づき、出納整理期間を設けられている団体（会計）においては、出納整理期間における現金の受払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としています。

なお、出納整理期間を設けていない団体（会計）と出納整理期間を設けている団体（会計）との間で、出納整理期間に現金の受払い等があった場合は、現金の受払い等が終了したものとして調整しています。

(3) 表示金額単位

百万円未満を四捨五入して表示しているため、合計金額が一致しない場合があります。